

企業を訪ねて 9

北越工業株式会社(エンジンコンプレッサ、エンジン発電機等の製造・販売)

■「グローバル企業として環境を重視した創エネに果敢に挑戦」

平成25年1月31日(水)、燕市下粟生津の北越工業株式会社を訪ねました。永年の信頼と独創的製品の世界展開をどの様に行ってきたかを伺いました。

聞き手◆世界的ブランド名“**AIRMAN**”でグローバル市場での高い信頼を勝ち取っていますが、それを生み出した基は何だと思いませんか？

吉岡氏◇やはり、お客様の生の声をお聴きすることが大切だと思います。多少不便と感じても、この製品はこういう仕組みだからこのように使用するしかない、と思い込むお客様もいらっしゃいます。社員が現場に出向いて製品の状況を確認することは勿論ですが、状況によってはビデオ録画させて頂き、自社に持ち帰って利用形態や作動状況を詳細に把握し、業務に反映させています。

◆次の時代を見据えた場合、世界のマーケットが求める製品とはどのようなものでしょうか？

◇建設機械は、循環型流通となっており、日本国内で数年間使用した高品質な日本製建機の中古品は東南アジアなどで多く活用されています。今後の排ガス規制改正にとともに、高品質燃料を使用する次世代建機が主流となります。しかし、現在、中古建機の使用国では、燃料を高品質化する設備の整備は進んでいません。そのため、そのような国々では次世代建機の普及が進まないため、中古の次世代建機は流通し難くすると予想されています。現在、このような環境変化への対応を図っているところです。当社の大型コンプレッサは、高価格ではありますが、欧州製品と比較しても性能面で当社の製品は優れていますし、中国の4,000m高地で動くコンプレッサは、当社の製品しかありません。今後は、更なる高品質化を図り、市場を今以上に確保したいと考えています。

◆外的要因等が、事業展開や業績に影響を及ぼすケースも予想されるかと思えます。その様な状況での対応策とは？

◇様々な環境によって業績が伸び悩む局面も予想されます。売上目標が見込めないなどの厳しい時期、状況回避のために急な方針転換などを行うと、悪循環に陥ることがあります。売れない時期には、営業部門に無理難題は課しません。逆に、業績が好



吉岡謙一社長（北越工業本社にて）
聞き手：原利昭 本学副学長（地域産学交流センター長）

調な時が最も企業体質が弱くなる傾向にあると思っています。その時期に状況に応じた具体的な対策を行うことにより、成果が出ると考えています。

◆貴社の人材育成についての考え方や取組についてお聞かせ願います。

◇製造現場の社員には、他社への見学研修を積極的に実施して見識を深め、自社業務の見直しや検証に反映させています。業務改善の際には、正社員はもとより、パート社員からも質の高い提案が多くなされています。そして、個人の職務状況に応じた目標を明確にしてもらっています。

また、製品開発の関わり方として、お客様のご意見を商品開発に反映させると現状よりも良い製品につながります。しかし、製品開発で勘案すべきコスト、納期の制約を反映するあまり、独創性が失われ、画期的な製品は出来なくなります。そこで、時折、納期、コストなどの制約をつけず、自由な発想で製品開発に取り組みます。今回の取組で製品化された「VSジェネレータ」は、5年がかりでしたが、これまでにない仕組みを導入し、省エネ効果の非常に高い新世代発電機となりました。

これらの取組が、会社全体の底上げに繋がっていくものと捉えています。

◆大変貴重な話をいろいろお聴きすることができました。お忙しいところ誠にありがとうございました。

■ 東海地区への先進企業見学会を開催 株式会社水野鉄工所、東明工業株式会社を視察

平成24年11月15日(木)、16日(金)に本学産学交流会会員企業を対象に、航空機産業に参入している企業2社を視察しました。初日は航空機宇宙機器部品加工を中心に油圧部品の加工・組立を行っている岐阜県の株式会社水野鉄工所を、翌日には、大型旅客機やビジネスジェット機の主翼や胴体部分、国産ロケット等の組立て、海洋船舶業界や自動車業界、鉄道車両業界、更には航空機用の大物部品梱包ケースの製造と梱包事業を展開する愛知県の東明工業株式会社を見学しました。ここでの見学中、偶然、三菱重工のロケット出荷検査にも立ち会うことができ、参加者からは航空機の翼の組立てや実際の出荷検査での精度の高さは大変参考になったとの意見を頂きました。

今回の見学先では質疑応答や意見交換の時間が十分にあり、大変有意義な視察となりました。

本見学会は、企業単独では視察が難しい他社の先進技術を視察する事を重視し、大学の与信力を想定した本学の企画によるものです。地域企業の技術向上のため、今後も同様の企画を行う予定であり、多くの参加を期待致しております。

